

# Eradication therapy for Helicobacter pylori infection based on the antimicrobial susceptibility test in children: A single-center study over 12 years

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2021-02-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮田, 恵理 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002705">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002705</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2485 号

Eradication therapy for *Helicobacter pylori* infection based on the antimicrobial susceptibility test in children: A single-center study over 12 years

小児のヘリコバクター・ピロリ感染症における薬剤感受性試験結果に基づいた除菌療法について：単施設における 12 年間の報告

宮田 恵理（みやた えり）

博士（医学）

論文内容の要旨

*Helicobacter pylori* (*H. pylori*)は感染により慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、胃癌などを引き起こし、感染の多くは小児期に成立するとされているため、小児期における *H. pylori* 感染の診断や治療は重要である。当科では 10 年以上前から、上部消化管内視鏡検査を行い、薬剤感受性を参考にした *H. pylori* 除菌療法に取り組んでおり、過去 12 年間の *H. pylori* 陽性患者の感染率と薬剤感受性試験結果、および除菌成功率をまとめたので報告する。2007 年 1 月から 2018 年 12 月までの 12 年間に当科で上部消化管内視鏡検査を施行し *H. pylori* 陽性となった小児患者を対象に、感染率と感受性試験結果、および除菌結果を後方視的にまとめた。上部消化管内視鏡施行件数は延べ 575 件、455 例で、そのうち *H. pylori* 検査施行例は 119 例、*H. pylori* 陽性例は 45 例（男女比 24:21、平均年齢 12.0±2.8 歳）であった。*H. pylori* 陽性患者の薬剤耐性は、Clarithromycin (CAM) 単独耐性が 26 例 (57.8%)、CAM・Amoxicillin (AMPC) 耐性が 4 例 (8.9%)、CAM・Metronidazole (MNZ) 耐性が 1 例 (2.2%)、CAM・AMPC・MNZ 耐性が 1 例 (2.2%) であった。全体の CAM 耐性率は 71.1%で、前半 6 年間の CAM 耐性率と比較して、後半 6 年間の CAM 耐性率は有意に高かった。薬剤感受性試験結果に基づき、治療薬を選択したところ、一次除菌成功率は 97.7%であった。近年、CAM の使用増加に伴い様々な分野で CAM 耐性が問題視されており、*H. pylori* 感染症においても例外ではない。除菌前に薬剤感受性試験を行うことによる tailoring therapy は除菌率を高めるという報告は複数あり、2018 年に刊行された「小児期ヘリコバクター・ピロリ感染症の診療と管理ガイドライン 2018」や欧州・北米小児栄養消化器肝臓学会によるガイドラインにおいても推奨されている。小児 *H. pylori* 診療において、近年 CAM 耐性が増加していることから、培養検査による薬剤感受性結果を参考に治療薬を選択することで、高い除菌率が得られる。